

款	土木費	項	道路橋梁費
事業名	橋梁耐震対策事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	40,230千円	財源内訳	国県支出金等 34,000千円 一般財源 6,230千円

【事業の概要】

地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るために、橋梁の耐震補強工事を実施しました。

[平成25年度分]

財源内容 国県支出金 5,500千円 地方債 15,300千円 一般財源 1,790千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
桜川1号橋（通称：銭亀橋）耐震補強工事	22,590	耐震補強工事
合 計	22,590	

[平成24年度からの繰越分]

財源内容 地方債 13,200千円 一般財源 4,440千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
新川9号橋（通称：神天橋）耐震補強工事	14,595	耐震補強工事
桜川1号橋（通称：銭亀橋）耐震補強実施設計委託	3,045	耐震補強工事实施設計委託
合 計	17,640	

[平成26年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 12,732千円 地方債 22,900千円 一般財源 3,273千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
桜川1号橋（通称：銭亀橋）耐震補強工事	35,514	耐震補強工事
国道6号2号橋（通称：永国跨道橋）耐震補強実施設計委託	3,391	耐震補強工事实施設計委託
合 計	38,905	



桜川1号橋（通称：銭亀橋）

【事業の成果】

耐震補強工事の実施により、大規模地震が発生した場合でも橋梁の損壊を防ぐことが可能となり、避難路及び緊急輸送路を確保することができるようになります。

款	土木費	項	道路橋梁費				
事業名	橋梁長寿命化修繕事業						
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
決算額	15,771千円	財源内訳	国県支出金等	8,674千円	一般財源	7,097千円	

【事業の概要】

橋梁の老朽化が進んでいるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）他8橋の修繕詳細設計を実施しました。

[平成25年度分]

財源内容 国県支出金 8,674千円 一般財源 7,097千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）他8橋修繕詳細設計委託	15,771	橋梁長寿命化修繕詳細設計委託
計	15,771	

[平成25年度橋梁長寿命化修繕事業詳細設計委託箇所]

(単位：m)

番号	橋 梁 名 称	橋 長	幅 員
1	東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）	180.0	10.0
2	山王橋	15.6	6.0
3	大志戸橋	15.5	3.0
4	国道6号4号橋	28.9	20.0
5	境川2号橋	32.7	5.2
6	国道6号2号橋(通称：永国跨道橋)	33.0	13.0
7	常磐線2号橋	21.8	15.0
8	新川9号橋(通称：神天橋)	35.4	15.0
9	桜川1号橋(通称：銭亀橋)	106.6	9.8



東真鍋1号橋（通称：木田余立体橋）

【事業の成果】

計画的かつ予防的な修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図り、老朽化する橋梁の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行い、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができるようになります。

款	土木費	項	道路橋梁費
事業名	道路新設改良事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	174,670千円	財源内訳	国県支出金等 151,200千円 一般財源 23,470千円

【事業の概要】

日常生活における市民の利便性を向上させ、市の一体性の速やかな確立を図るために、主要幹線道路及び旧新治村と市街地を連絡する幹線道路の整備に係る次の工事を実施しました。

- ・ 幹線道路その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・ 歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

〔整備路線〕

①市道Ⅰ級16号線 L=200m W=5.5～6.0m

②市道新治Ⅱ級3号線 L=220m W=10m

〔平成25年度分〕

財源内容 市債 119,600千円 一般財源 8,346千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	5,208	2件 延長 650m
工事請負費	95,275	2件 延長 430m W=6.0～10.0m
用地取得費	15,639	1,993㎡ 3路線
物件移転補償費	11,824	立木、工作物、電柱移設費等
合 計	127,946	

〔平成24年度からの繰越分〕

財源内容 市債 31,600千円 一般財源 15,124千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	4,042	1件 延長 350m
工事請負費	42,682	3件 延長 448m W=3.5～10.0m
合 計	46,724	

〔平成26年度への繰越分〕

財源内容 市債 35,300千円 一般財源 4,236千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	39,536	2件 延長 290m W=3.5～8.0m
合 計	39,536	



市道Ⅰ級16号線



市道新治Ⅱ級3号線

【事業の成果】

主要幹線道路及び旧新治村と市街地を連絡する幹線道路について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備促進及び生活環境の向上を図るとともに、混雑などの交通事情を改善し、新市内のネットワークの構築に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費
事業名	道路新設改良事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	823,296千円	財源内訳	国県支出金等 636,716千円 一般財源 186,580千円

【事業の概要】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るために、主要幹線道路及び生活関連道路の整備に係る次の工事を実施しました。

- ・幹線道路その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

〔整備路線〕

①市道新治Ⅱ級7号線	L = 200m	W=4.0m
②市道Ⅰ級9号線	L = 240m	W=8.2m
③市道真鍋22号線	L = 280m	W=4.0m
④市道天川二丁目28号線	L = 95m	W=6.0m
他23件	L=3,546m	W=4.0m～9.0m

〔平成25年度分〕

財源内容 国県支出金 49,332千円 市債 410,100千円 一般財源 103,961千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	103,735	44件 延長 10,935m
工事請負費	341,471	27件 延長 4,361m W=4.0～9.0m
交通安全施設工事	3,465	5件 区画線等
用地取得費	35,393	6,895㎡ 31路線
物件移転補償費	70,419	立木, 工作物, 電柱移設費等
役務費	7,102	鑑定料, 登記料
事務費等	1,808	
合 計	563,393	

〔平成24年度からの繰越分〕

財源内容 国県支出金 29,284千円 市債 148,000千円 一般財源 82,619千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	5,008	2件 延長 330m
工事請負費	254,895	15件 延長 2,547m W=4.0～8.19m
合 計	259,903	

〔平成26年度への繰越分〕

財源内容 国県支出金 50,688千円 市債 312,800千円 一般財源 34,848千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	371,523	15件 延長 2,537m
用地取得費	26,813	3件 2,018㎡
合 計	398,336	



市道Ⅰ級9号線



市道新治Ⅱ級7号線



市道天川二丁目28号線



市道真鍋22号線

道路整備状況（平成26年4月1日現在）

市道全体延長	1,510,557	m	（ 6,897 路線）
改良済延長	700,146	m	（ 改良率 46.35 % ）
舗装済延長	1,158,261	m	（ 舗装率 76.68 % ）

【事業の成果】

幹線道路や狭い市道について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備促進を図り、生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	河川費	
事業名	都市下水路整備事業・小規模排水路整備事業			
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり			
決算額	188,490千円	財源内訳	国県支出金等	160,188千円
			一般財源	28,302千円

【事業の概要】

◎ 都市下水路

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2,400mm×1,900mm L=47m
- ・西真鍋都市下水路施設整備工事 U2,500mm×1,800mm L=70m
- ・天川上高津都市下水路施設整備工事 U1,800mm×1,500mm L=110m

◎ 小規模排水路

- ・神立東一丁目小規模排水路施設整備工事 U 800mm× 900mm L=100m
- ・田中二丁目小規模排水路実施設計他 L=400m

[平成25年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費（都市下水路現年度分）	115,429	工事2件
整備費（都市下水路繰越分）	65,650	工事1件
都市下水路整備費合計	181,079	工事3件
整備費（小規模排水路現年度分）	7,411	工事1件，実施設計1件
総 計	188,490	

[平成26年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
整備費（都市下水路分）	42,715	工事1件
整備費（小規模排水路分）	25,818	工事2件
総 計	68,533	

西根竹の入都市下水路施設整備工事



着工前



完成後

【事業の成果】

3路線の都市下水路施設整備及び1路線の小規模排水路施設整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図り、市民の生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	地域公共交通確保維持改善事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	3,162千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 3,162千円

【事業の概要】

地域住民、企業、交通事業者、行政の連携の下、土浦市地域公共交通活性化協議会が事業主体となり、高齢者等の交通弱者への対応及び環境負荷の小さい交通体系の構築を図るため、次の事業を実施しました。

- ・コミュニティ交通導入事業（コミュニティバスの運行）
- ・路線バス維持活性化事業（茨城県のバス運行対策事業に対する負担金、バス評価制度の導入）
- ・広報・PR事業（ホームページの維持管理、ガイドブックの作成）
- ・乗合タクシー拡充方策検討業務（平成24年度からの繰越し事業）

[平成25年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概 要
負担金	768	地域公共交通活性化協議会負担金
	1,521	バス運行対策費負担金（茨城県への負担金）
補助金	873	霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金（関鉄グリーンバスへの補助金）
合 計	3,162	

[地域公共交通活性化協議会負担金について]

○地域公共交通活性化協議会歳入

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
負担金	768	市負担金
繰越金	3,204	
諸収入	10,939	国庫補助金分返還金等
合 計	14,911	

○地域公共交通活性化協議会歳出

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
事業費	14,508	コミュニティ交通試験運行委託料等
会議費	403	委員報償費等
合 計	14,911	

○地域公共交通活性化協議会事業費内訳

(単位：千円)

事業内容	事業費
コミュニティ交通試験運行委託	10,749
公共交通ガイドブックの印刷	198
公共交通案内ホームページの更新委託	169
荒川沖駅東西口バス路線案内板の修正	100
公共交通案内ホームページ管理委託	31
公共交通ガイドブック（点字版）作成謝礼	30
市民バスモニター用バス回数券の印刷	18
消耗品の購入	9
乗合タクシー拡充方策検討委託	3,204
合 計	14,508

※ 乗合タクシー拡充方策検討委託については、平成24年度からの繰越し事業です。
 ※ 新治地区のコミュニティ交通については、交通不便地域の解消を目的に導入されましたが、乗客数が少ないため、地元運営委員会と協議の上、平成26年3月をもって試験運行が終了となりました。

【事業の成果】

「土浦市地域公共交通総合連携計画」に位置付けた各種事業を実施することにより、利便性の高い魅力ある公共交通体系の構築が期待されます。その他として、複数市町村を運行するバス路線の維持のために、運行対策費を拠出し、バス路線の維持を図りました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	特定幹線道路整備調査事業					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	5,539千円	財源内訳	国県支出金等	3,500千円	一般財源	2,039千円

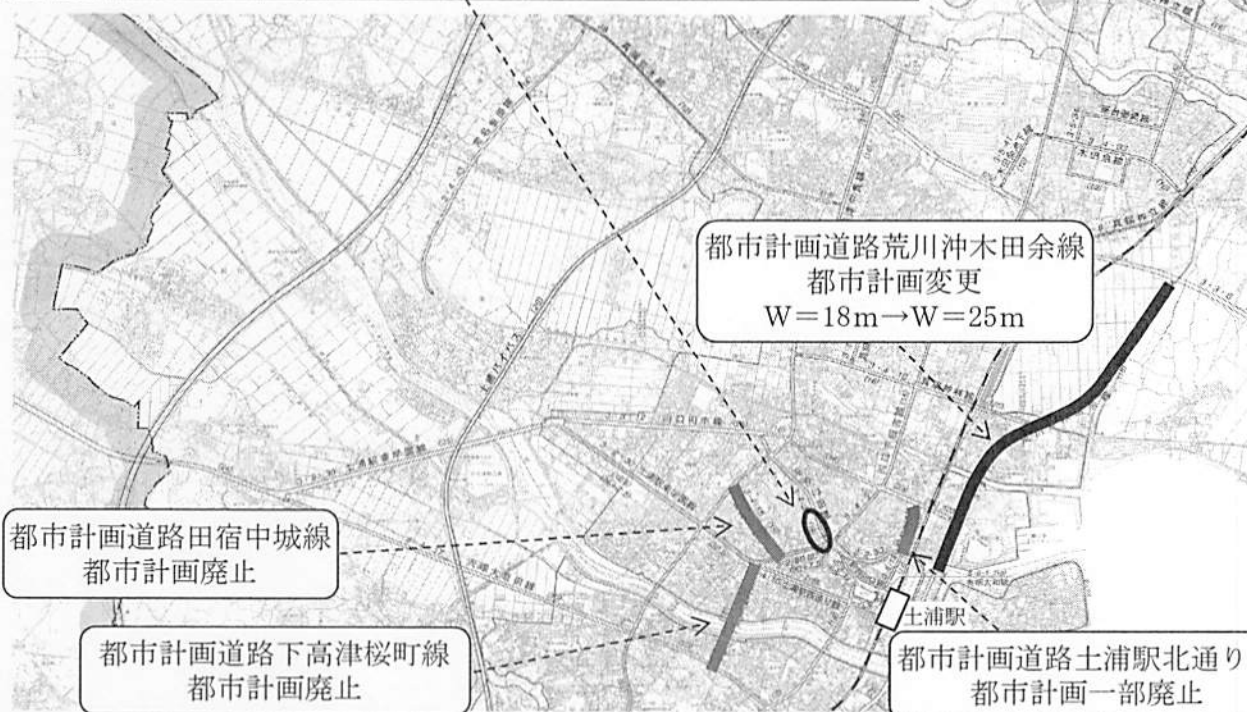
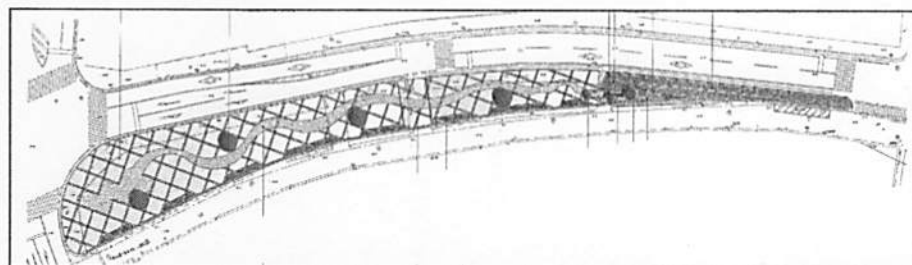
【事業の概要】

平成17・18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」の中で、優先整備路線の計画的な道路整備を進め、幹線道路網交通体系を確立し、円滑で安心安全な交通体系を構築します。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市計画道路の変更（廃止）決定	1,099	都市計画審議会委員報酬等（122千円） 都市計画決定図書作成委託（977千円）
亀城モール詳細設計委託	3,937	亀城モール詳細設計業務委託
荒川沖木田余線立入防止柵設置工事	494	
その他	9	
合 計	5,539	

亀城モール整備イメージ



【事業の成果】

幹線道路網交通体系の確立により、円滑で安心安全な交通体系が構築されます。

平成25年度は、都市の効率的な整備を図るために、都市計画審議会の審議を受けて、4路線の都市計画の廃止及び1路線の都市計画変更を行いました。また、亀城モールの整備に必要な詳細設計を実施しました。亀城モールの整備により、歩行者や自転車等の安全性が高まるとともに、中心市街地における快適な都市空間が形成されることが期待されます。

今後も、道路整備方針に基づき、効率的な道路整備を行っていきます。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	10,220千円	財源内訳	国県支出金等 9,662千円 一般財源 559千円

【事業の概要】

都市計画法の改正や少子高齢化の進展、低炭素社会の実現等社会経済状況の変化に対応した都市構造に対応するため、都市計画マスタープランを計画期間（平成16年度～平成35年度）の中間期で見直すことにより、市民の意見を反映させながら、都市の将来像を明確にし、その実現に向けての道筋を明らかにします。

平成25年度は、旧土浦市、旧新治村においてそれぞれ策定した都市計画マスタープランを見直し、一本化しました。（平成26年3月策定）

【計画の概要】

- ・将来像：「水・みどり・人がきらめく 安心のまち 活力のまち 土浦」
- ・計画期間：平成26年度～平成45年度の20年間
- ・将来人口フレーム：約14万人（平成45年度）

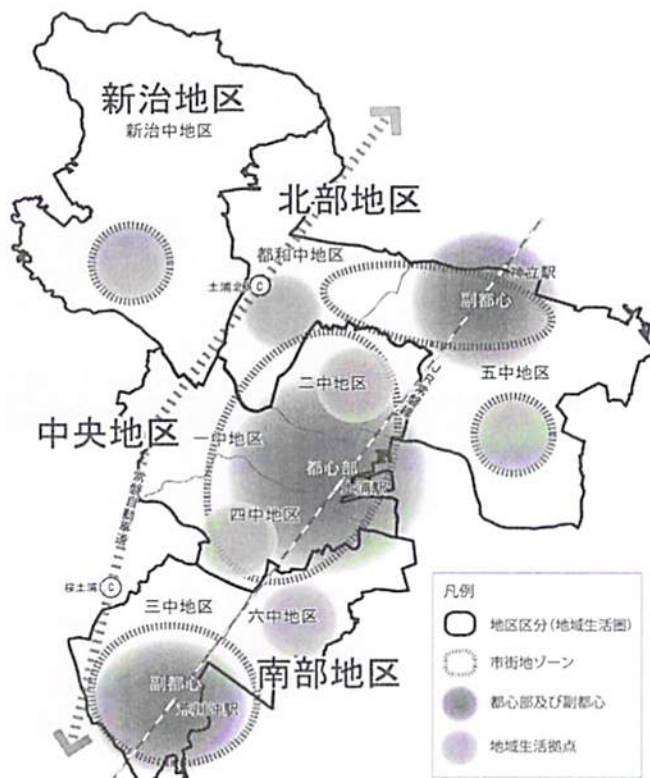
【平成25年度事業内容】

- ・地区別構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・地区別懇談会の開催
- ・パブリック・コメントの実施
- ・策定幹事会、委員会の開催
- ・都市計画審議会の開催

【事業費の内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費
委員等報酬	98
報償費	435
需用費（食糧費等）	25
委託料	9,662
合 計	10,220



（参考：平成24年度事業内容）

- ・現計画、各種統計、事業等の検証
- ・全体構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・まちづくりアンケート調査
- ・グループインタビューの開催
- ・地区別住民意見交換会の開催
- ・策定幹事会、委員会の開催
- ・都市計画審議会の開催

【事業の成果】

地区別懇談会やパブリック・コメントを行うことにより、市民の意見をより反映した都市計画マスタープランを策定することができました。

なお、都市計画マスタープランは、長期的視点に立って将来の目指すべき都市像を明らかにすることにより、個々の都市計画決定など、まちづくりを行う上での必然性、妥当性を検証するための指針となります。

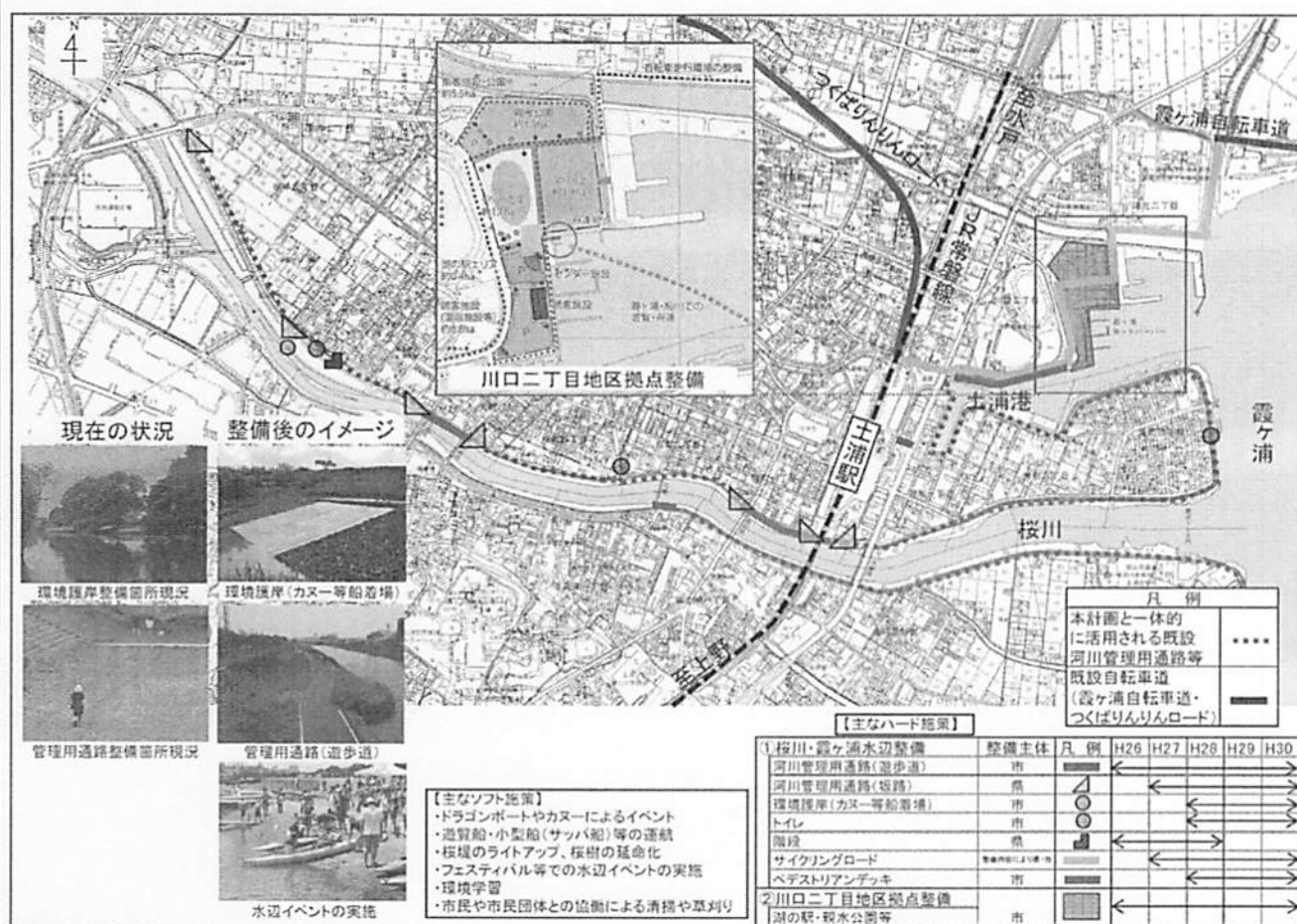
款	土木費	項	都市計画費			
事業名	かわまちづくり計画策定事業					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	2,911千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	2,911千円	

【事業の概要】

本市のまちづくり資源でもある霞ヶ浦や桜川などの水辺空間をまちづくりに生かすため、市民、河川管理者、市の連携の下で、整備・利活用計画である土浦市かわまちづくり計画を策定しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	2,693	平成24年度に作成した計画素案を基にした計画の策定委託
報償費等	218	計画策定委員会の開催に係る経費、委員への報償等（3回分）
合 計	2,911	



土浦市かわまちづくり計画の整備イメージ

【事業の成果】

策定した土浦市かわまちづくり計画につきましては、平成26年3月26日付けで、国土交通省のかわまちづくり支援制度に係る計画に登録されました。

今後は、この計画に基づき、平成26年度から平成30年度までの期間で、中心市街地に近接する霞ヶ浦及び桜川の水辺空間を整備し、市民に潤いや安らぎをもたらし、生涯学習、健康づくり、遊びの場等となる、まちと水辺が融合した良好な空間の形成を目指します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	歴史の小径整備事業					
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	199,007千円	財源内訳	国県支出金等	174,262千円	一般財源	24,745千円

【事業の概要】

◎歴史の小径整備事業

土浦城址を中心とした歴史的資源と道路との調和による独自の町並みの形成と、回遊性のある快適な歩行空間の創出により、中心市街地の活性化を図ります。

①事業期間：平成23年度～平成25年度

②整備延長L=370m，整備幅員W=5.1～7.35m

[平成24年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	90,194	電線地中化工事委託 (東電，NTT，ケーブルテレビ)

[平成25年度分]

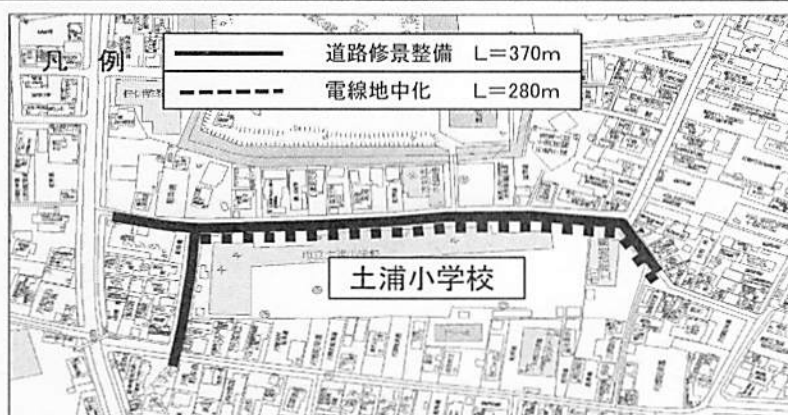
(単価：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	38,160	道路修景工事
補償補填及び賠償金	2,773	補償金
委託料	67,880	電線地中化工事委託
合 計	108,813	

[平成26年度への繰越分]

(単価：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	66,361	道路修景工事
委託料	4,352	電線地中化工事委託
合 計	70,713	



位置図



修景イメージ

【事業の成果】

本市固有の財産である歴史景観，都市景観の保全・維持及び歩道整備による安全性の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	都市景観整備事業					
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	5,446千円	財源内訳	国県支出金等	746千円	一般財源	4,700千円

【事業の概要】

土浦市景観計画並びに景観条例に基づき、景観審議会やアドバイザー制度の運営を行いました。また、平成24年度に策定した公共サイン整備ガイドラインに基づいた公共サイン（歩行者系誘導サイン）設置事業や、新たな景観形成重点地区設定検討のための調査を行いました。

(1) 都市景観整備事業

(単位：千円)

区 分	事業費
真鍋通り地区景観まちづくり調査の実施	2,572
公共サイン（歩行者系誘導サイン）の設置	1,953
景観計画パンフレットの印刷	252
景観審議会、景観アドバイザー制度の運営	113
景観重要建造物看板	74
合 計	4,964



真鍋通り地区景観まちづくり調査



公共サイン（歩行者系誘導サイン）外観と設置場所



(2) 歴史の小径整備事業 歴史の小径名称看板の設置：事業費 482千円



歴史の小径名称看板外観（左：貼付式 右：自立式）



歴史の小径名称看板設置箇所

【事業の成果】

真鍋通り地区景観まちづくり調査を行い、現況把握と今後の方向性の検討を行いました。また、公共サイン整備ガイドラインに基づくパイロット事業として公共サインの設置を行い、来街者の利便性の向上を図りました。

さらに、歴史の小径の名称を周囲の景観に配慮した看板で周知することにより、来街者の回遊性を高め、市民に愛着を持ってもらうことが期待できるようになりました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	協働のまちづくり基金事業					
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	151,343千円	財源内訳	国県支出金等	51,305千円	一般財源	100,038千円

【事業の概要】

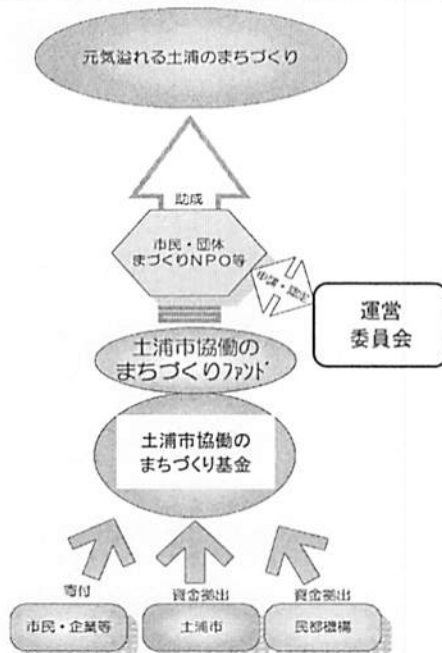
第7次土浦市総合計画の基本理念の一つである「共に考え行動する協働によるまちづくり」を実践するため、平成25年度に市・一般財団法人 民間都市開発推進機構・市民からの拠出金や寄付金を基に150,000千円の「土浦市協働のまちづくり基金」を創設しました。この基金を活用して、平成26年度から市民団体等が行うまちづくり活動（ハード事業）に対して補助を行うものです。

- ①市民提案事業（補助率4/5以内）
市内全域において市民団体等が行う魅力あるまちづくり、地域の活性化を目指す事業を対象に最大5,000千円の補助を行います。
- ②景観形成事業（補助率1/2以内～2/3以内）
景観形成重点地区等での修景整備に対して補助を行います。（補助対象物件：建造物、門、塀、植栽等、広告物、自動販売機、空調・電気設備）

【積立金内訳】

（単位：千円）

区 分	積立額
本市拠出金	100,000
民間都市開発推進機構拠出金	50,000
寄付金	1,300
預金利子	5
合 計	151,305



【事業費内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費
報償費	38
合 計	38



城下町とその周辺地区



J R土浦駅周辺地区

景観形成事業の対象地区

【事業の成果】

平成25年4月1日に市・民間都市開発推進機構・市民からの拠出金や寄附により、150,000千円の基金を創設しました。また、有識者等で構成する運営委員会を設置するとともに、補助金交付要項の整備も進めてきました。

今後は、基金を活用して多角的な視点で事業を推進することにより、本市固有の歴史景観の維持保全と市民協働によるまちづくりが期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	自転車交通ネットワーク整備事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	4,626千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 4,626千円

【事業の概要】

「土浦市総合交通体系調査」に基づき、自転車に対する円滑な都市交通の確保と機能の充実に努めます。

〔平成25年度事業〕

・「土浦市自転車交通ネットワーク整備計画」について

市街地内の自転車交通と市街地間を連絡する自転車交通を主とする「生活ネットワーク路線」と、2つの自転車道と観光拠点を結ぶ「観光ネットワーク路線」を対象路線として、国のガイドラインを参考に整備形態の選定を行いました。

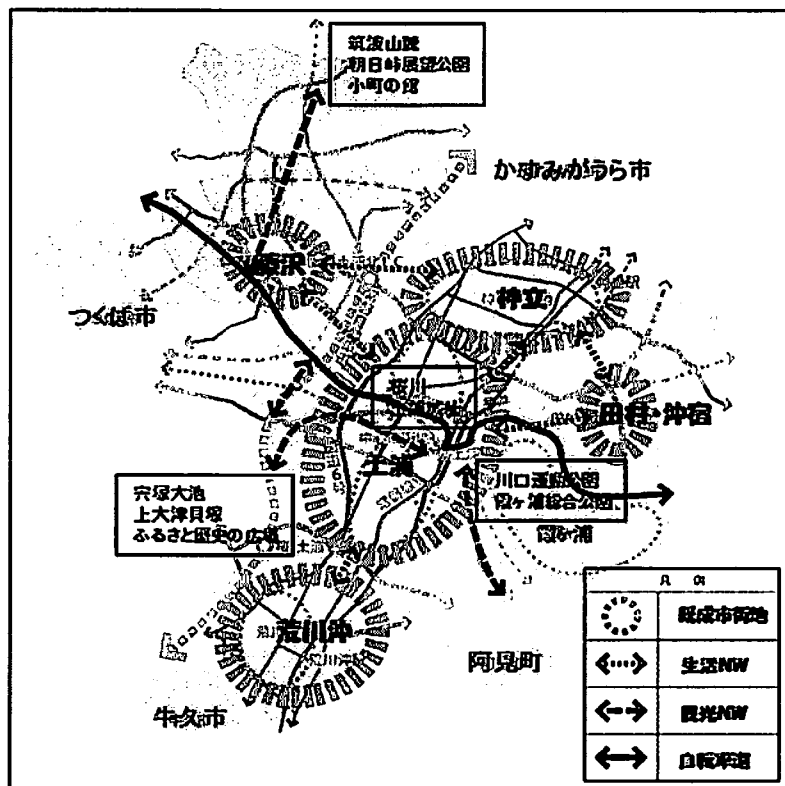
・連絡調整会議の実施

整備対象路線の管理者間で整備手法や整備方針、将来的には整備状況を共有し、事業推進の効率化を図ることを目的に、警察・各道路管理者・市の関係部署で構成される連絡調整会議を行いました。

〔事業費の内訳〕

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,620	自転車走行空間ネットワーク整備計画検討委託
需用費	6	
合計	4,626	



生活ネットワーク路線と観光ネットワーク路線のイメージ

【事業の成果】

自転車走行空間を確保した交通網を形成し、自転車と歩行者の両方における円滑で安心安全な交通体系を構築していくための指針となる整備計画を策定しました。

なお、この計画は、安全性・快適性の確保のみならず、地域環境を生かした観光、余暇の健康・スポーツを楽しむ自転車利用環境の実現も見据えたものとなっています。

今後は、この計画に基づいて主要観光施設への接続ルートが整備されることにより、観光客の増加も見込まれます。

款	土木費	項	都市計画費		
事業名	ノンステップバス導入促進事業				
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり				
決算額	468千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	468千円

【事業の概要】

バリアフリー新法の基本方針の改定に伴い、ノンステップバスの導入目標が約30%から約70%に引き上げられた（平成25年度末の本市におけるノンステップバス導入率は43%）ことから、ノンステップバスの導入を推進し、交通弱者の社会参加に向けて移動手段の確保を図るため、ノンステップバス導入事業者に対して、国と県との協調補助を行いました。

なお、平成25年度は、導入するノンステップバスの運行路線がつくば市にまたがることから、併せてつくば市との協調補助を行いました。

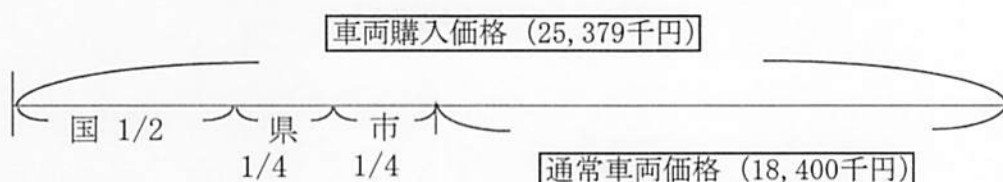
【補助額決定の基本的な考え方】

①（車両購入価格）×1/8

② {（車両購入価格）－（通常車両価格）}×1/4

⇒①と②を比較し小さい方の額を補助→平成25年度は、②を採用

※ 決定方法②のより詳しい算出方法については、以下のとおりです。



↓ 補助対象額＝車両購入価格－通常車両価格

補助対象額（6,979千円）

↓ 市補助額＝補助対象額×1/4

市補助額（1,745千円）

↓ 県との協調補助の観点から、
県の上限額（950千円）を採用

補正後市補助額（950千円）

↓ 平成25年度は、つくば市との協調補助のため、運行比率に基づき市補助額を案分
（本市の運行比率は、49.2%）

土浦市補助額：468千円



ノンステップバス

【事業の成果】

バリアフリー化された路線バスを増やすことで、高齢者や身体障害者、車椅子利用者、妊婦などあらゆるバス利用者に対し、移動手段を確保し、その利便性を高めることができました。さらに、それによって、地域公共交通の利用促進につながり、公共交通の維持・活性化にも寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	バリアフリー推進事業		
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	3千円	財源内訳	国県支出金等 4,580千円 一般財源 -4,577千円

【事業の概要】

土浦市バリアフリー基本構想に基づき、総合的なバリアフリー化の促進を図るため、利用者、事業者、行政の連携の下で、以下の事業を実施しました。

〔バリアフリー特定事業〕

- ・モール505グレーチング改善工事
- ・土浦駅西口エレベーター視覚障害者対応工事
- ・荒川沖駅西口公衆トイレバリアフリー化工事

〔その他の事業〕

- ・バリアフリー推進協議会運営
- ・バリアフリー教室（車椅子体験・高齢者疑似体験等）の開催



荒川沖駅西口公衆トイレバリアフリー化工事



バリアフリー教室の様子

〔バリアフリー推進事業事業費内訳〕

財源内容 国県支出金980千円 市債3,600千円 一般財源2,192千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
モール505グレーチング改善工事	995	目の細かいグレーチング交換
土浦駅西口エレベーター視覚障害者対応工事	2,205	音声誘導装置の設置
荒川沖駅西口公衆トイレバリアフリー化工事※	2,940	車椅子対応便器等の設置
バリアフリー推進協議会運営	629	委員報償費等
バリアフリー教室の開催	3	車椅子体験・高齢者疑似体験等
合 計	6,772	

※ 国庫補助対象経費（補助率1/3）⇒2,940千円×1/3＝歳入980千円

【事業の成果】

目の細かいグレーチングへの交換、視覚障害者誘導用音声装置の設置、トイレの利用しやすいさの改善（オストメイト対応トイレパック、車椅子対応便器、温水シャワー付便座シート、ベビーシート等の設置）を行うことで、高齢者や障害者を含むあらゆる人の移動円滑化と利便性向上に寄与しました。また、市民を対象としたバリアフリー教室の実施を通して、「心のバリアフリー」の醸成を図りました。

これらの事業は、バリアフリー推進協議会において適切な管理を行い、当事者参画を推進することによって、より利用者の視点に即して行うことができました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	都市施設管理事業					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	4,074千円	財源内訳	国県支出金等	4,070千円	一般財源	4千円

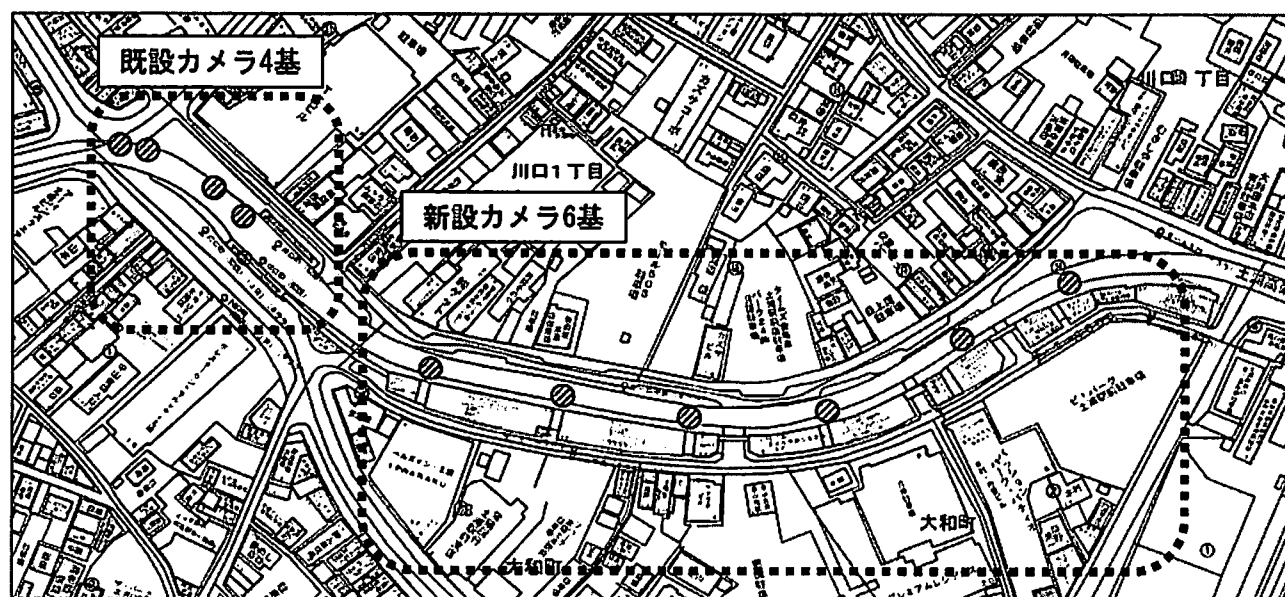
【事業の概要】

不特定多数の人が利用するモール505に防犯カメラを設置することにより、犯罪等の抑止を図り、安心安全に利用できる公共施設としました。

〔平成24年度からの繰越分〕

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
防犯カメラ設置	4,074	モール505防犯カメラ6台設置
合 計	4,074	



防犯カメラ設置位置図

【事業の成果】

モール505に防犯カメラを設置することで、犯罪の予防及び公共の安全の維持が図られました。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	229,054千円	財源内訳	国県支出金等 173,000千円 一般財源 56,054千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を、土地区画整理事業により一体的に行い、駅前にふさわしい市街地を形成します。

- ・地区面積 約2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・権利者 39人（土浦市 26人、かすみがうら市 13人）
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線 W=22m, L=約20m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線 W=12～15m, L=約210m
- ・事業費 約55.5億円

【平成25年度】

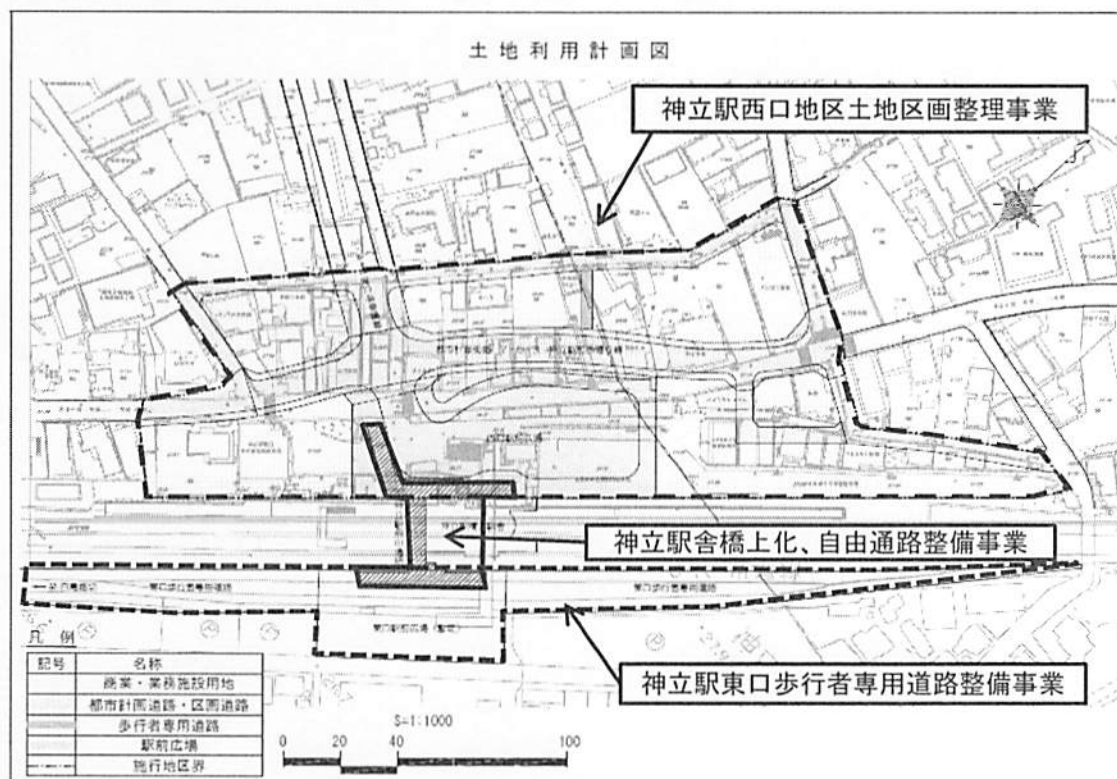
土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合への負担金 229,054千円

【事業経過】

- ・平成18年度 神立駅西口地区土地区画整理事業B調査
- ・平成23年度 神立駅西口地区土地区画整理事業等の都市計画決定
- ・平成24年度 神立駅西口地区土地区画整理事業の事業計画決定
- ・平成25年度 神立駅西口地区土地区画整理審議会設立
減価買収、建物詳細調査、東口歩行者専用道路基本設計等

【関連事業】

- ・神立駅舎橋上化、自由通路整備事業、神立駅東口歩行者専用道路整備事業



【事業の成果】

平成25年度は、土地区画整理審議会を設立するとともに、減価買収、建物補償調査、神立駅東口歩行者専用道路の基本設計等を行い、神立駅を中心とした健全で活力のある市街地形成の推進に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	常名虫掛線街路事業 《合併特例債事業》						
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
決算額	282,906千円	財源内訳	国県支出金等	262,160千円	一般財源	20,746千円	

【事業の概要】

◎常名虫掛線

常名運動公園進入路として、また、市街地と市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）を結ぶ幹線道路として整備を図ります。

都市計画決定延長L=2,000m（区間内訳 市道部L=1,345m 県道部L=655m）

①事業期間：平成22年度～平成26年度

②整備延長L=1,440m、幅員W=16m ③一部供用開始L=279m（平成26年2月）

[平成24年度からの繰越分]（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	220,061	道路改良工事
補償補填及び賠償金	1,297	補償金
委託料等	11,182	発掘調査等
合 計	232,540	

[平成25年度分]（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	49,734	道路改良工事
補償補填及び賠償金	616	補償金
需用費等	16	
合 計	50,366	

[平成26年度への繰越分]（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
工事請負費	63,550	道路改良工事
補償補填及び賠償金	2,030	補償金
委託料等	5,250	認定図書作成
合 計	70,830	



位置図

【事業の成果】

常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	川口田中線・木田余神立線・神立停車場線街路事業		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	318,436千円	財源内訳	国県支出金等 258,840千円 一般財源 59,596千円

【事業の概要】

◎川口田中線

平成21年5月に供用開始したホテルマロウド前交差点から国道354号交差点（城北町）までの区間（延長L=296m）に引き続き、国道354号交差点（城北町）から土浦警察署西側交差点までの区間を整備することで、川口田中線の全線開通を図り、市街地内の東西軸道路ネットワークを構築します。

①事業期間（Ⅲ期）：平成21年度～平成25年度 ②整備延長L=469m、整備幅員W=16m
[平成24年度からの繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
公有財産購入費	7,770	用地取得（事故繰越分）
補償補填及び賠償金	63,270	補償金（事故繰越分）
工事請負費	22,990	道路改良工事（平成24年度繰越分）
公有財産購入費	20,550	用地取得（平成24年度繰越分）
補償補填及び賠償金	46,560	補償金（平成24年度繰越分）
合 計	161,140	

[平成25年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	16,134	道路改良工事
公有財産購入費	211	用地取得
補償補填及び賠償金	55,633	補償金
委託料等	3,799	測量等
合 計	75,777	

[平成26年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	79,236	道路改良工事
公有財産購入費	27,309	用地取得
補償補填及び賠償金	17,267	補償金
委託料等	1,858	
合 計	125,670	



◎木田余神立線

整備を進めていた木田余土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場）までの区間（延長L=800m）については、平成24年7月に供用開始しました。引き続き、Ⅱ期分として、都市計画道路中貫白鳥線（神立病院付近）から北側の未整備区間の整備に着手し、南北軸の道路ネットワーク強化を図ります。

①事業期間：平成24年度～平成31年度 ②整備延長L=300m、整備幅員W=12m
[平成25年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料等	6,327	詳細設計等



平成24年度供用開始区間



位置図

◎神立停車場線

本市とかすみがうら市において現在進めている神立駅西口地区土地区画整理事業による駅前広場（約4,800㎡）の整備に併せて、駅前広場から国道6号間の道路ネットワークを両市が一体となり整備するものです。

・全体整備延長（土浦市神立中央一丁目～かすみがうら市下稲吉）L=2,380m

①事業期間：平成23年度～平成29年度 ②整備延長L=283m，整備幅員W=22m
[平成25年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	546	防護柵工事等
公有財産購入費	44,499	用地取得
補償補填及び賠償費	20,589	補償金
役務費等	9,558	不動産鑑定料等
合 計	75,192	

[平成26年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
公有財産購入費	5,502	用地取得
補償補填及び賠償費	27,710	補償金
合 計	33,212	



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上はもとより，中心市街地及び周辺地区の交通混雑が緩和されるとともに，歩道整備による安全な歩行空間の確保を図るなど，円滑で快適な交通体系を構築します。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	109,815千円	財源内訳	国県支出金等 92,041千円 一般財源 17,774千円

【事業の概要】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

- ・全体整備計画延長（土浦市田中二丁目～真鍋二丁目）
W=12.0/6.0m, L≒1,300m
- ・事業期間 平成24年度～平成27年度

[平成24年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	31,514	測量、地質調査、道路等詳細設計

[平成25年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
鑑定料	5,161	不動産評価、土地評価、補償物件算定
用地取得費	69,992	
補償金	2,938	
需用費等	210	
合 計	78,301	

[平成26年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	36,000	道路改良工事
用地取得費	75,008	用地取得費
補償金	22,062	補償金
合 計	133,070	



【事業の成果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。また、本路線の隣接区域には新消防庁舎移転地があることから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスが向上します。

款	土木費	項	都市計画費
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	158,098千円	財源内訳	国県支出金等 156,798千円 一般財源 1,300千円

【事業の概要】

◎田村沖宿線延伸道路

総合病院へのアクセス道路として、また、神立駅東地区とおおつ野地区土地区画整理地内を結ぶ幹線道路として整備を図ります。

延長L=2,900m

①事業期間：平成24年度～平成27年度 ②整備延長L=2,900m, 幅員W=14m

〔平成24年度からの繰越分〕

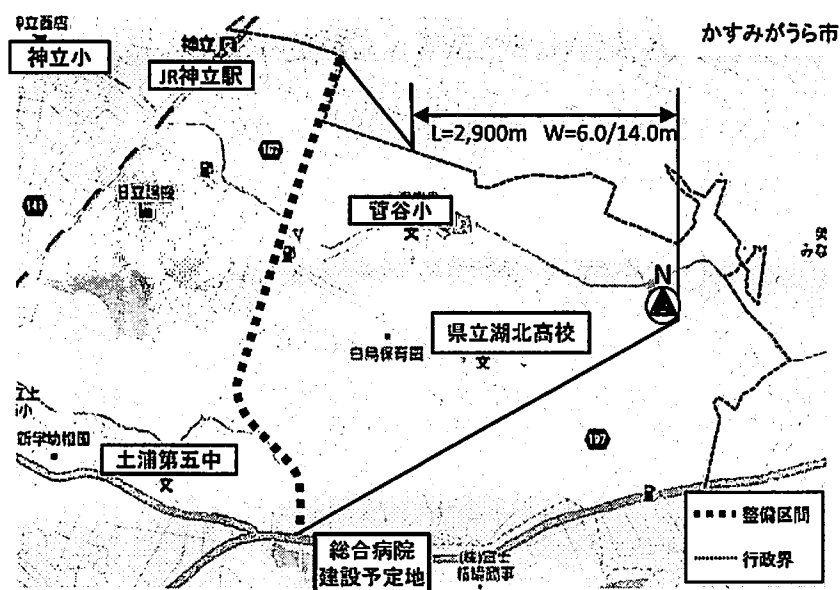
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	29,127	道路改良工事
公有財産購入費	45,083	用地取得費
補償補填及び賠償費	2,733	補償金
委託料等	81,155	測量、地質調査、道路等詳細設計
合 計	158,098	

〔平成26年度への繰越分〕

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	20,000	改良工事
用地及び補償費	110,000	用地取得費及び移転補償
合 計	130,000	



位置図

【事業の成果】

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野地区土地区画整理地内への交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備により近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者空間が確保されるなど円滑な交通体系の構築に寄与します。

さらに、おおつ野地区土地区画整理地内に移転が進められている、総合病院へのアクセス向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	公園・緑地管理事業						
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
決算額	121,612千円	財源内訳	国県支出金等	77,360千円	一般財源	44,252千円	

【事業の概要】

良好な風致、景観を備えた地域環境を形成することにより、自然との触れ合いを通じて、心身ともに豊かな人間形成を目的とし、また、レクリエーションの場として、さらには、震災発生時の避難地・延焼防止の役割を果たす活動拠点とするため、公園等の施設整備及び災害復旧工事を行いました。

[平成24年度からの繰越分]

(単位：千円)

施設又は事業の区分	事業費	事業の概要
乙戸沼公園	13,009	ジョギングコース整備工事
港町緑地整備	7,949	遊歩道整備工事
合 計	20,958	

[平成25年度分]

(単位：千円)

施設又は事業の区分	事業費	事業の概要
(仮称) 川口二丁目地内芝生広場	12,947	暫定広場周辺整備工事
乙戸沼公園	68,870	ジョギングコース整備工事
霞ヶ浦総合公園	18,837	園路灯LED化工事・テニスコート災害復旧工事
合 計	100,654	



乙戸沼公園ジョギングコース整備工事



霞ヶ浦総合公園園路灯LED化工事



霞ヶ浦総合公園テニスコート災害復旧工事



港町遊歩道整備工事

【事業の成果】

ジョギングコース及び遊具・園路等の改修や遊歩道の整備等により、利便性・安全性の向上を図ることができました。また、災害復旧工事を実施し、公園施設の機能回復を図りました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	新治運動公園整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
決算額	359,053千円	財源内訳	国県支出金等	287,200千円	一般財源	71,853千円

【事業の概要】

新治運動公園の整備を図り、本市及び県南地域の中核都市に相応した施設整備を推進することにより、市民の健康増進やスポーツ振興を図ることを目的として、野球場の整備を実施しました。

[平成24年度からの繰越分]

(単位：千円)

施設の区分	事業費	事業の概要
新治運動公園	57,744	野球場造成工事
合 計	57,744	

[平成25年度分]

(単位：千円)

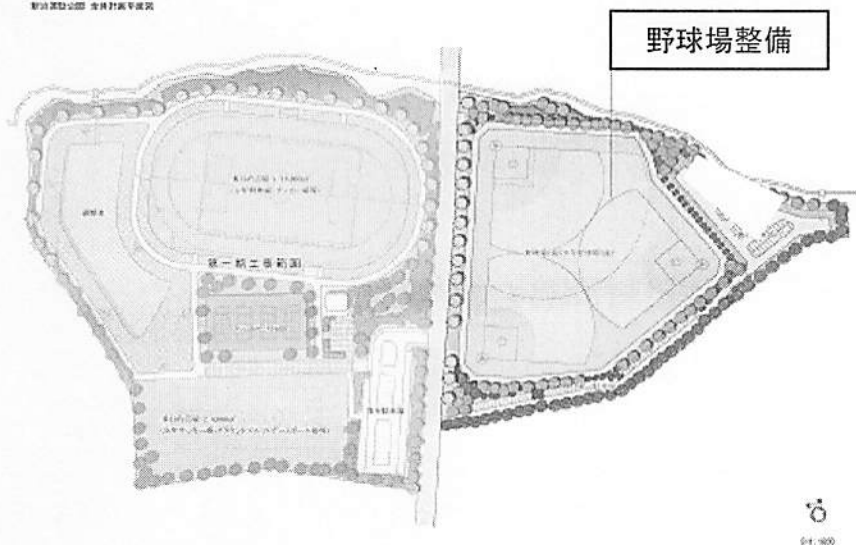
施設の区分	事業費	事業の概要
新治運動公園	301,309	野球場施設整備工事
合 計	301,309	

[平成26年度への繰越分]

(単位：千円)

施設の区分	事業費	事業の概要
新治運動公園	343,507	野球場施設整備工事
合 計	343,507	

新治運動公園 全計画区域図



新治運動公園計画図

【事業の成果】

新治運動公園の機能更新と合わせて、県南地区の中核都市に相応した施設整備を推進することで、憩いの場の創造とともに、市民の健康増進やスポーツの振興が図られます。

款	土木費	項	都市計画費	
事業名	中心市街地活性化基本計画管理運営事業			
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり			
決算額	2,293千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 2,293千円

【事業の概要】

中心市街地を取り巻く環境は、少子高齢化による居住人口の減少やモータリゼーションの進展に加え、郊外への大型ショッピングセンターの立地などにより、都市機能の拡散や商業機能の衰退が進み、「まちの顔」である中心市街地は大きく変化しています。

このような中で、平成18年にはまちづくり三法が改正され、まちづくりの考え方も人口減少社会の到来等に対応した「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」を目指す考え方が示されました。本市においては、新法の理念に沿った新たな中心市街地活性化基本計画の検討を平成22年度から開始し、平成25年度に計画を策定しました。

【計画期間】

平成26年度～平成30年度

【本計画に位置付けられた主な事業（計78事業）】

- ・新庁舎整備事業
- ・土浦駅前北地区市街地再開発事業
- ・川口二丁目地区整備事業
- ・まちなか定住促進事業
- ・中心市街地開業支援事業

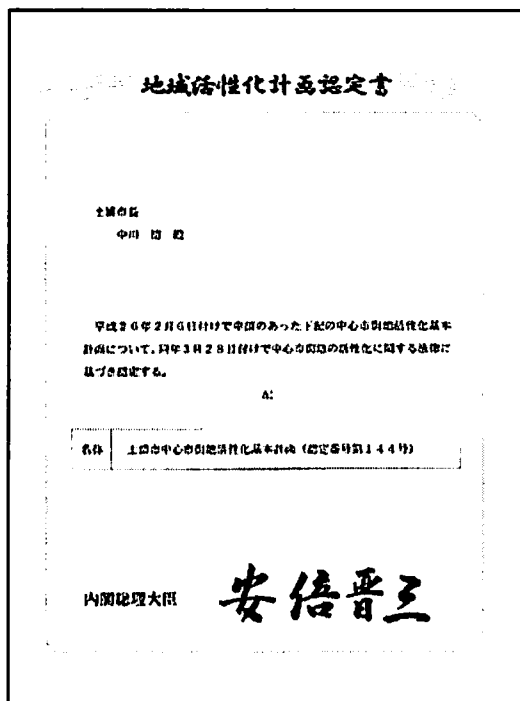
【平成25年度の主な事業内容】

- ・中心市街地活性化基本計画策定委員会の開催（2回）
- ・中心市街地活性化協議会の開催（6回）

【事業費の内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
委託料	1,743	中心市街地活性化基本計画の策定委託
報償費	228	中心市街地活性化基本計画委員会委員への報償
補助金	322	中心市街地活性化協議会への補助
合 計	2,293	



地域活性化計画認定書
(平成26年3月28日認定)

【事業の成果】

策定した土浦市中心市街地活性化基本計画につきましては、平成26年3月28日付けで、内閣府の認定を受けました。

今後は、この計画に基づき、平成26年度から平成30年度の期間で、国からの集中的な支援を受けながら、人口減少社会の到来等に対応した「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」の実現を目指します。

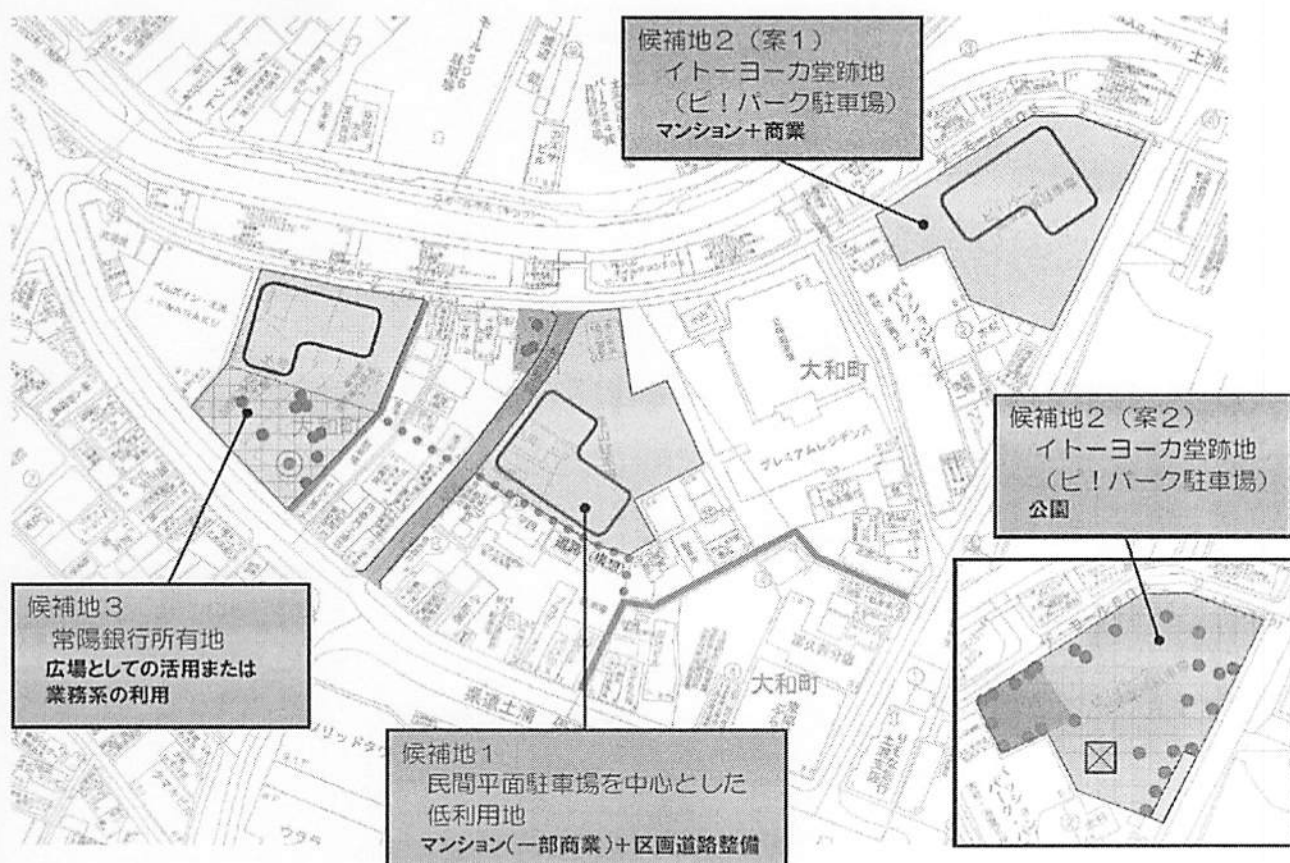
款	土木費	項	都市計画費
事業名	土浦駅前西口周辺地区市街地総合再生事業（大和北地区）		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	2,835千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 2,835千円

【事業の概要】

土浦駅前西口周辺地区市街地総合再生区域（約9ha）のうち、良好な市街地整備の必要がある大和町北地区について、中心市街地の活性化に資するため、事業化検討調査（建物の共同化や道路整備、公共公益施設導入の検討）を実施しました。

【事業費】

大和町北地区事業化検討調査委託 2,835千円



【事業の成果】

大和町北地区において、候補地3か所の事業モデルを作成し、地権者や関係機関等と協議を進めることによって、課題を整理するとともに、中心市街地の活性化に資する良好な市街地整備の事業化に向けた取組の方向性を検討することができました。

款	土木費	項	住宅費
事業名	公営住宅管理運営事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	122,649千円	財源内訳	国県支出金等 103,364千円 一般財源 19,285千円

【事業の概要】

市営住宅における居住環境を改善するため、受水槽設備の改修工事等を実施しました。

[平成25年度分]

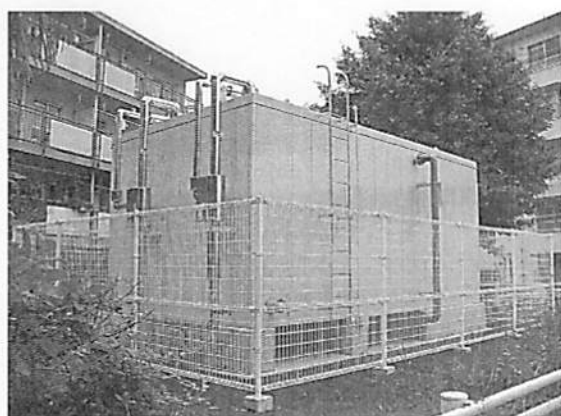
(単位:千円)

市営住宅の名称	事業の名称	事業費	概 要
都和中耐住宅	受水槽設備改修工事	29,778	既存の地下式受水槽の撤去及び地上式受水槽(24m ³)の新設(1基)
竹の入第二住宅	水洗化工事	14,910	11棟41戸の水洗化工事
常名第三住宅	入居者移転引越業務委託	2,380	木造住宅を解体することに伴い、入居者が他の市営住宅に引っ越す作業の委託
	入居者移転住宅解体工事	1,829	老朽化した木造住宅の解体工事
合 計		48,897	

[平成24年度からの繰越分]

(単位:千円)

市営住宅の名称	事業の名称	事業費	概 要
都和テラス住宅	屋上防水改修工事	29,820	シート防水 12棟 1,708m ²
中高津住宅	外壁塗装改修工事	42,357	外壁補修及び吹付塗装 2棟 3,484m ²
霞ヶ岡第一住宅	エレベーター改修工事	1,575	戸開走行保護装置設置
合 計		73,752	



都和中耐住宅の新設受水槽

【事業の成果】

市営住宅における居住環境を改善するため、都和中耐住宅の受水槽設備の改修及び竹の入第二住宅の水洗化工事を実施するとともに、常名第三住宅の入居者に対して、耐震化された他の市営住宅への移転を行ったことにより、良好な住環境の確保及び入居者の生命と財産の安全を図ることができました。